

地歴公民 (日史・世史・地理・政経・倫理) 北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文】

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式

記述式 38 問, 選択式 2 問, 論述式 14 問 計 54 問 (解答数 55)

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

論述式の問題が減少 (論述の総字数も減少) する一方, 記述式の問題は増加したため, 問題数はほぼ昨年並み。問題については, 教科書の内容に沿ったもの, 過去問を踏襲したものが多く, 全体的に取り組みやすかったと思われる。

出題の特徴や昨年との変更点

大問ごとに時代が区別されており, ①は原始・古代, ②は中世, ③は近世, ④は近現代という構成をとっており, 出題される分野は多岐にわたる。③では, 江戸幕府の蝦夷地政策や対露関係から出題される傾向にある。また, 文章や史料の内容を読み取ったうえで設問の要求に応える形式が定着している。

その他トピックス

昨年に引き続き, 戦後史からの出題がなかった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
①	記述式 論述式	・弥生～古墳時代の倭国と対外関係 ・9世紀における文化の唐風化	問5の(2)は, 40字も必要ではないように思えるため, 何を盛り込めば良いのか迷うだろう。問7の(2)は詳細な知識である。	標準
②	記述式 論述式	・鎌倉幕府内の政治抗争の兆候《史料》 ・明に送る国書の将軍呼称《史料》	問1は問題の差し替えがあったが, 編者の意図を盛時の狙いに結びつけて説明するのは至難ではないか。	標準
③	記述式 選択式 論述式	・蝦夷地に関わる会津藩士の系譜《史料》 ・岩倉具視の経歴《史料》	問1・問3・問4で, 江戸時代の蝦夷地や対露関係に関する問題が3年ぶりに出題されたが, 問3の(2)はやや詳細な知識である。問7は, 土佐藩士として福岡孝弟, 薩摩藩士として大久保利通を答えても良い。	やや易
④	記述式 論述式	・紡績業における産業革命《史料》 ・第一次世界大戦後の経済・社会・外交	問2で大阪紡績会社の設立を1883年としているが, その前年なので誤りである。問8の(1)は, 金本位制から離脱し, 赤字国債を発行し, 軍事費を中心とした財政の膨張が産業界を活性化させたという説明でも良いと思われる。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

記述式・選択式の問題については, 本番で取りこぼしがないうよう, 教科書を中心に歴史用語を確実に定着させる。論述式の問題については, 教科書の説明に則した歴史理解を心がけ, 歴史事象の背景や因果などを意識しながら学習し, 比較的短い字数の問題を素材にして練習を繰り返すようにする (可能であれば添削指導を受ける)。また, 過去の出題と類似したテーマから出題される傾向があるので, 過去問もしっかり解き, 理解を深めておくようにする。